

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援教室 わかくさ武庫之荘東		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 11月 3日		～ 2025年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様にとって、『楽しい』と感じられる取り組みを行っています。	・心理、保育、教育等、多職種の専門知識を連携し、お子様の現状の発達課題に寄り添った支援プログラムを組めるようクラスごとに支援チームを生んでおりますので、成長に合わせてお子様が『できた!』『うれしい!』を感じることができる療育活動が形成されるよう努めています。 ・お子様に『させる』というプログラムではなく、スタッフにとっても『楽しい!一緒に楽しんでほしい!』と感じられるようなプログラムを組んでいくことをモットーに、双方が育ちを楽しみ、実感できることを大切にしております。	保護者の方へのご参加を促すような催しや、地域連携をさらに強める施策を実施していくことで、お子様だけでなく、お子様を取り巻く環境からお子様個々の育ちを楽しみ、喜んでいけるような事業運営を進められればと考えています。
2	ご家族のお声に耳を傾け、お子様一人一人に合わせた最適なコミュニケーションを考え、支援します。	・発達面だけでなく、日常生活やご家族や学校との関わりから、心理的側面も踏まえて行動観察を重ねる事で、お子様一人一人の伝え方、受け取り方の傾向をアセスメントします。そういった中で、お子様一人一人にあったコミュニケーションを見つけ、事業所の内外問わず、ご家族をはじめとした周囲との相互理解をより深め、お子様がスムーズに自己実現していけるような支援を心掛けています。	お子様にあったコミュニケーションを見つけていくためには、より深い情報精度が必要だと考えており、ご家庭だけでなく、教育機関、他事業所との連携は不可欠と感じております。今後とも、関係者会議や学校訪問等、お子様にまつわる環境との情報共有を強めていけるような施策を提案して参ります。
3	構造化された空間及び、支援プログラムに取り組んでいます。	・お子様のコミュニケーション能力や傾向に合わせ、最適な環境で成長を支援できるよう、個別～小集団のクラスに分けて適切な課題設定をプログラムしております。	より多様なお困り感やニーズに対応すべく、社内外での研修に参加し、より専門性の高い、ご利用者様に寄り添った支援が出来るように努めて参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方同士の交流の場や、ペアレントトレーニングなどの家族支援プログラムが、現状実施されていません。	・開催だけでなく、ご家庭にとってより有益な場になりますよう、スタッフのスキルアップが必要不可欠だと感じています。	子育てを通じて、当所のスタッフとご家庭とのより強いチームアップが出来るように、社内外での勉強会に参加して知見を深めるとともに、保護者の方にも当所の取り組みをご理解いただけるような広報にも力を入れていきたいと考えています。
2	建屋の関係上、運動や広いスペースを使った療育には不向きです。	・敷地面積の都合、お子様が自由に運動したり、安全にボール投げ等を楽しめるスペースを確保する事が難しいです。	今後は近隣の公園やグラウンドを活用し、お子様に安心してのびのびと身体を動かして頂けるようなプログラムを検討しております。

3	地域行事など外部に開かれた行事が少なめです。	・新規事業所ということもあり、本年度はお子様の負荷や外部との関わりに対するご家庭のご不安も考慮し、積極的な実施は控えさせていただきました。	地域連携を深めていくためにも、今後の参画に向けてご協力を頂けるようご利用者様への丁寧な意図の説明と配慮の体制づくりを進めていきたいと考えています。
---	------------------------	---	---

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援教室 わかくさ武庫之荘東

公表日 R8年 2月 1日

利用児童数

26

回収数

18

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	7		2	・最大10名だとやや狭く感じた	今年度は新1年生も多く、まずは環境に慣れて頂く為に屋内での活動が中心となりましたが、次年度以降は戸外の活動を積極的に取り入れていくことでスペースの課題の改善を検討しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		1		より個々の課題に寄り添えるよう、常にスタッフ配置の改善に努めてまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3		3		今後のご利用者様の多様なニーズに可能な限りお応えできるよう、日々問題提起と改善に努めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1				今後も安心・安全を感じて頂ける教育空間づくりに、設備改善を始めスタッフの教育を徹底して参ります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2			・STがあると嬉しい	ご希望のご利用者様の声も多く伺っておりますので、別事業所でのSTによる個別療育を予定しており、順次ご案内いたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			2		今後もお子様への「いま、ここ」の悩みや難しさだけでなく、未来に向けた療育活動に努めて参ります。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1				今後とも、お子様ひとりひとりの生活の中での課題に寄り添い、わかさだけの視点ではなく、保護者の方、ご本人のご希望、学校をはじめとした取り巻く環境の声を耳を傾け、未来志向の支援計画を作成
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			2		今後引き続き、スタッフへのガイドラインの教育を進めるとともに、幅広い支援に繋がるようアセスメントと相談支援、療育の創意工夫に努めて参ります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17			1		今後ともご本人と保護者の方に寄り添った支援計画を基にPDCAサイクルに取り組みたいと思っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16			2		今後引き続き、お子様の特性・課題に沿った、「たのしい」「できた」と感じられる活動を提供できるよう創意工夫に努めて参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	2	4	7	・ほっとさんとのイベントが楽しかった	今年度は新1年生も多く、集団での戸外活動は新規場面も多く、積極実施を控えておりましたが、今後地域行事や消防署等の施設見学、地域の行事等に参加し、地域との交流を図ることを検討しております。
保 護 者 へ の 説 明 書	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					今後とも安心してご利用頂けますよう、丁寧な説明に努めて参ります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	1			ご説明について十分ではなかったと感じられたご意見を真摯に受け止め、全てのご利用者様へより明瞭にお伝えしていくよう努めて参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	6	7		今後、ご利用者様同士の交流会や、ハロウィン・夏祭りといったお子様と一緒に参加出来るイベント、小規模でのペアレントトレーニングを次年度以降に順次開催する準備を進めております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1		1		引き続き、お子様のご様子について日々の連絡共有だけでなく、担当スタッフ間でのモニタリング会議等、積極的に取り組んで参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1		1		今後とも、ご家庭との連携を大切にしながら情報共有・相談支援に努め、お子様を包括的にサポートできるよう努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2		1		今後とも、ご本人・ご家族様の「いま、ここ」のお気持ちに寄り添いながら、暖かい支援を行って頂けるよう努めて参ります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	8	4	・機会があれば参加してみたいです	今後、ご利用者様同士の交流会や、ハロウィン・夏祭りといったお子様と一緒に参加出来るイベント、小規模でのペアレントトレーニングを次年度以降に順次開催する準備を進めております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	3		今後とも、ご利用者が安心してご利用頂けるよう、支援の体制についてのご説明を丁寧に行って参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17		1		引き続き、日々の連絡シートでのやり取りだけでなく、ご不安な点など含めたお子様に関するご相談の電話対応など、相談支援にも力を入れて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	9	・夏休みの日報がなかったのは残念	長期休暇時のご利用者様のお声を受け、現在、日々の活動の記録のお返しに加え、療育中のご様子をクローズドな形でのSNS等を通じ発信できたらと検討しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1			引き続き、個人情報の保護につきましては法令順守はもとより、ご利用者様の信頼にお応えできるよう文書や写真のお取り扱いをはじめとした社内教育を徹底して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2	2		安全点検会議（事故防止）や防犯・感染症対策会議においては定期実施されておりますが、実施内容等を十分にお知らせ出来ていない事を受け、ご家庭との連携を含めた広報の方法を検討しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	7		上記同様、避難訓練におきましては、火災、水害（地震）、不審者のケースにおいて実施はしておりますが、実施内容等を十分にお知らせ出来ていない事を受け、ご家庭との連携を含めた広報の方法を検討中です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16		2		引き続き、安全点検会議を重ねつつ、お子様が安心・安全にお過ごしいただけるような空間づくりに取り組むとともに、当所の取り組みについてご利用者様に広くお伝えする方法を検討していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		3		お怪我だけでなく、お子様の体調変化等、お子様の些細な変化についてもスタッフ内での共有することで、速やかな連絡対応にあたるように努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				今後ともご期待に添えますよう、お子様だけでなくご家庭も「たのしい」「できた」を実感できる療育に努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1			今後ともご期待に添えますよう、お子様だけでなくご家庭も「たのしい」「できた」を実感できる療育に努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1			現状に満足することなく、スタッフや療育の質の向上を目指し、よりご満足いただけるような事業所運営に努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	発達支援教室 わかくさ武庫之荘東		公表日		R8年 2月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	児童の人数や状況を鑑み、戸外での活動を適宜取り入れています。	今年度は新1年生も多く、まずは環境に慣れて頂く為に屋内での活動が中心となりましたが、次年度以降は戸外の活動を積極的に取り入れていくことでスペースの課題の改善を検討しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	個別サポートが必要なお子様だけでなく、集団療育に参加されているお子様にも十分なサポートが行えるよう、支援の形態を日々協議しています。	より個々の課題に寄り添えるよう、常にスタッフ配置の改善並びにスタッフのスキルアップに努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	6	お子様の特性や認知・性格傾向に合わせ、よりわかりやすく、過ごしやすい空間づくりに努めるとともに社会適応面・安全性には常に検討を重ねています。	今後のご利用者様の多様なニーズに可能な限りお応えできるよう、日々問題提起と改善に努めて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		お子様の特性や認知・性格傾向に合わせ、よりわかりやすく、過ごしやすい空間づくりに努めるとともに社会適応面・安全性には常に検討を重ねています。	今後も安心・安全を感じて頂ける療育空間づくりに、設備改善を始めスタッフの教育を徹底して参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別の状況に合わせ使用できる個室（面談室）を常備しております。	今後のご利用者様の多様なニーズに可能な限りお応えできるよう、日々問題提起と改善に努めて参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	各自の目標、課題に合わせチームとして自己研鑽できるよう、スタッフミーティングを定期的に実施しています。	引き続きミーティングを実施するとともに、不定期実施の個別の面談も定期化できればと検討しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		年度ごとに実施されておりますアンケートだけでなく、日々の連絡等やり取りも事業所で共有し改善へとつなげています。	引き続き、ご利用者の皆様のご要望に寄り添った運営を目指します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		各自の目標、課題に合わせチームとして自己研鑽できるよう、スタッフミーティングを定期的に実施しています。	引き続きミーティングを実施するとともに、不定期実施の個別の面談も定期化できればと検討しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	年度ごとに実施されておりますアンケートだけでなく、日々の連絡等やり取りも事業所で共有し改善へとつなげています。	引き続き、ご利用者の皆様のご要望に寄り添った運営を目指します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	社内報等で従業者宛てにアナウンスを随時行っています。	引き続き、アナウンスを続けるとともに、スタッフ間での社外研修についての紹介制度等も充実したいと検討しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		保育、心理、教育等多職種の見点から適宜アセスメントを重ね、お子様の成長とご家庭のニーズに合ったプログラムを日々協議しています。	今後もお子様の「いま、ここ」の悩みや難しさだけでなく、未来に向けた療育活動に努めて参ります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保育、心理、教育等多職種の見点から適宜アセスメントを重ね、お子様の成長とご家庭のニーズに合ったプログラムを日々協議しています。	今後とも、お子様ひとりひとりの生活の中での課題に寄り添い、わかきだけの視点ではなく、保護者の方、ご本人のご希望、学校をはじめとした取り巻く環境の声に耳を傾け、未来志向の支援計画を作成できるよう努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個々の支援計画の作成にあたり、お子様の日々のご様子、ご家庭のニーズ、お子様を取り巻く社会環境での適応性を包括的にサポートする形で、担当者のアセスメント（モニタリング）会議、保護者様との面談、計画原案作成会議から計画書の保護者様との同意形成まで、丁寧に実施しております。	今後とも、お子様ひとりひとりの生活の中での課題に寄り添い、わかきだけの視点ではなく、保護者の方、ご本人のご希望、学校をはじめとした取り巻く環境の声に耳を傾け、未来志向の支援計画を作成できるよう努めます。

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	3	個々の支援計画の作成にあたり、お子様の日々のご様子、ご家庭のニーズ、お子様を取り巻く社会環境での適応性を包括的にサポートする形で、担当者のアセスメント（モニタリング）会議、保護者様との面談、計画原案作成会議から計画書の保護者様との同意形成まで、丁寧に実施しております。	ケース会議とモニタリングで検討された内容をクラス担当単位ではなく、回覧板を作成するなど全体で共有・把握できるような方法を検討いたします。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	社会適応・認知・運動面を踏まえた総合的な事業所内アセスメントシートを用い、お子様の成長と課題の判別を定量的に行えるよう実施しております。	引き続き、アセスメントシートの精度改善を検討して参ります。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2	保育、心理、教育等多職種の見点から適宜アセスメントを重ね、お子様の成長とご家庭のニーズに合ったプログラムを日々協議しています。	今後も引き続き、スタッフへのガイドラインの教育を進めるとともに、幅広い支援に繋がるようアセスメントと相談支援、療育の創意工夫に努めて参ります。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	保育、心理、教育等多職種の見点から適宜アセスメントを重ね、お子様の成長とご家庭のニーズに合ったプログラムを日々協議しています。	今後もお子様の「いま、ここ」の悩みや難しさだけでなく、未来に向けた療育活動に努めて参ります。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	お子様一人一人の課題に沿うだけでなく、お子様の「たのしい！」の気持ち成長の原動力につながるよう、曜日ごとにプログラム作成の担当者を決め、プログラム内容に創意工夫がなされるよう協議をしております。	引き続き、お子様を中心にご家庭が楽しみながら成長を喜べるプログラム作りに努めます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	お子様の特性や課題に応じてクラスを2つに分け、それぞれに適した活動を行っております。	今後とも、お子様ひとりひとりの生活の中での課題に寄り添い、わかくさだけの視点ではなく、保護者の方、ご本人のご希望、学校をはじめとした取り巻く環境の声に耳を傾け、未来志向の支援計画を作成できるよう努めます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		保育、心理、教育等多職種の見点から適宜アセスメントを重ね、お子様の成長とご家庭のニーズに合ったプログラムを日々協議しています。	今後もお子様の「いま、ここ」の悩みや難しさだけでなく、未来に向けた療育活動に努めて参ります。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	ヒヤリハットを含め、お子様のご様子やご家庭のニーズについて報告・共有しております。	引き続き、お子様の成長や課題についての情報を、都度チームで共有し支援に繋げてゆけるよう努めてまいります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の活動やお子様のご様子について毎日の記録を残し、適宜スタッフ間で共有・話し合いを行っております。	引き続き、お子様の成長及び事業所内での取り組みについて日々の記録を活用し、情報共有とPDCAサイクルに活かして参ります。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	個々の支援計画の作成にあたり、お子様の日々のご様子、ご家庭のニーズ、お子様を取り巻く社会環境での適応性を包括的にサポートする形で、担当者のアセスメント（モニタリング）会議、保護者様との面談、計画原案作成会議から計画書の保護者様との同意形成まで、丁寧に実施しております。	ケース会議とモニタリングで検討された内容をクラス担当単位ではなく、回覧板を作成するなど全体で共有・把握できるような方法を検討いたします。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	3	保育、心理、教育等多職種の見点から適宜アセスメントを重ね、お子様の成長とご家庭のニーズに合ったプログラムを日々協議しています。	今後も引き続き、スタッフへのガイドラインの教育を進めるとともに、幅広い支援に繋がるようアセスメントと相談支援、療育の創意工夫に努めて参ります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		「自分の気持ちを言葉で表現する」「思いを実現するために相手（環境）と意向をすり合わせる」を基本に、お子様の意向についての是非をスタッフが判断するのではなく「どうすればできるか。どこまではできて、どこからができないか」の公約数を自分で見つけることを目指す支援を行っています。	引き続き、お子様の自主性と社会適応を中心とした支援活動を実施して参ります。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	学校訪問、関係者会議、相談支援事業所のモニタリング等には児童発達支援管理責任者及びクラス担当者が同席するよう努めております。	引き続き、学校訪問、関係者会議、相談支援事業所のモニタリング等には児童発達支援管理責任者及びクラス担当者が同席するよう努めて参ります。

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4	相談支援事業所、又は保護者の方を通じ、教育機関や医療機関との連携を図るよう努めております。	引き続き、相談支援事業所や教育機関や医療機関との連携を強めるとともに、担当者間を問わず多職種の観点から包括的にアセスメントしていきけるよう担当に促すよう連携を検討しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	日々の連絡シートでの保護者様とのやり取りだけでなく、保護者の方との電話相談・面談、教育機関との情報共有等、お子様の状況に適宜合わせた対応を心掛けております。	引き続き、日々の連絡シートでのやり取りだけでなく、ご不安な点など含めたお子様に関するご相談の電話対応など、相談支援にも力を入れて参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	ご契約後、ご利用になられる前に通われていた保育園・幼稚園や事業所との情報共有と支援方針のすり合わせができるよう心掛けております。	引き続き、情報共有に努め、縦断的な支援が行えるよう努めて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	現状、新1年生のご利用がほとんどなので未実施手はありますが、今後こういったケースに対応できるよう、個々の支援内容と経過を逐次データ保管しております。	記録自体が膨大になりますので、今後を見据え、成長過程と課題について定量的に引継ぎできるツールを検討して参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	現状は積極的な連携についての実施はございませんが、あましえあによる情報収集は随時行っております。	支援の質向上のため、今後は研修やスーパーバイズ等の連携も前向きに検討したいと考えております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	地域の福祉施設等の行事への参加や情報収集に努め、ご利用者数やスタッフ配置の状況を鑑みて参加を企画しています。	今年度は新1年生も多く、集団での戸外活動は新規場面も多く、積極実施を控えておりましたが、今後地域行事や消防署等の施設見学、地域の行事等に参加し、地域との交流を図ることを検討しております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	開所に際し、現状は積極的な参加はございませんが、あましえあによる情報収集は随時行っております。	支援の質向上のため、今後は部会への参加や地域連携についても前向きに検討したいと考えております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の連絡シートでの保護者様とのやり取りだけでなく、保護者の方との電話相談・面談、教育機関との情報共有等、お子様の状況に適宜合わせた対応を心掛けております。	引き続き、日々の連絡シートでのやり取りだけでなく、ご不安な点など含めたお子様に関するご相談の電話対応など、相談支援にも力を入れて参ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	研修会やセミナー等の催しとしての支援活動は未開催となっておりますが、個々のご家庭への相談支援や、面談における発達支援についての情報提供は積極的に実施しております。	今後、ご利用者様同士の交流会や、ハロウィン・夏祭りといったお子様と一緒に参加出来るイベント、小規模でのペアレントトレーニングを次年度以降に順次開催する準備を進めております。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		運営規程、支援プログラムや事業所での取り組み方針、利用者負担額や上限管理につきましては契約時の重要事項としてご説明させて頂いております。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		日々のご様子やお子様の課題、将来的展望について保護者の方と面談にてヒアリングするだけでなく、お子様との日々の交流の中でご本人のニーズや難しいと感じられていることをヒアリングし、ご希望に沿った支援計画を立てられるよう努めております。	引き続き、ご家庭、ご本人の意向に沿いながら、事業所としての気づきや支援について共有していきけるよう積極的に機会を設けて参ります。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	個別支援計画及び、専門的支援実施計画に関して、作成した文書を保護者の方に説明するとともに、同意のご署名、捺印を頂いております。	ご説明について十分ではなかったと感じられたご意見を真摯に受け止め、全てのご利用者様へより明確にお伝えしていくよう努めて参ります。
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		日々の連絡シートでの保護者様とのやり取りだけでなく、保護者の方との電話相談・面談、教育機関との情報共有等、お子様の状況に適宜合わせた対応を心掛けております。	今後とも、ご家庭との連携を大切にしながら情報共有・相談支援に努め、お子様を包括的にサポートできるよう努めます。
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	今年度は準備期間として、定量的なアセスメントシートの作成や、支援プログラムの質向上やより専門性の高い相談支援に向けたスタッフ教育を優先させて頂いております。	今後、ご利用者様同士の交流会や、ハロウィン・夏祭りといったお子様と一緒に参加出来るイベント、小規模でのペアレントトレーニングを次年度以降に順次開催する準備を進めております。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		ご利用者様の日々の声に耳を傾け、早期対応を徹底するためにも、頂いたご意見・ご要望に関してスタッフ専用の報告フォームや連絡システムを設けて迅速に報告、相談できる体制を整えています。	引き続き、ご利用者の方だけでなくスタッフ、また地域の方の声に寄り添えるよう細やかな情報共有体制に努めて参ります。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	3	日々の活動記録（専門的支援実施記録）やお便りを配布し、当事業所の活動内容を発信しております。	長期休暇時のご利用者様のお声を受け、現在、日々の活動の記録のお渡しに加え、療育中のご様子をクローズドな形でSNS等を通じ発信できたらと検討しております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		スタッフには個々の契約時に個人情報保護に関する遵守事項の説明と、同意書への署名を以って業務にあたっております。また、ご利用者様にもご契約時に個人情報の保護と利用に関する同意書について説明とご確認印を頂いております。	引き続き、個人情報の保護につきましては法令順守はもとより、ご利用者様の信頼にお応えできるよう文書や写真のお取り扱いをはじめとした社内教育を徹底して参ります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		お子様一人一人の特性、表現能力に合わせ、気持ちに寄り添いながら伝え方（言語、マカトン、視覚指示etc.）を一緒に考え、実践します。	引き続き、日々の連絡シートでのやり取りだけでなく、ご不安な点など含めたお子様に関するご相談の電話対応など、相談支援にも力をいれて参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	新規のご利用者様への心理的負荷を考慮し、今年度は地域行事への参加については限定的な実施となりました。	地域行事へのご参加は一定の好評を頂きましたので、成果として次年度からの事業運営へと反映したいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	安全点検マニュアル及び、感染症や災害にまつわるBCP（事業継続計画）を定め、それに基づいた緊急時対応がなされるよう会議、研修を行っています。	安全点検会議（事故防止）や防犯・感染症対策会議においては定期実施されておりますが、実施内容等を十分にお知らせ出来ない事を受け、ご家庭との連携を含めた広報の方法を検討しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	安全点検マニュアル及び、感染症や災害にまつわるBCP（事業継続計画）を定め、それに基づいた緊急時対応がなされるよう会議、研修を行っています。	上記同様、避難訓練におきましては、火災、水害（地震）、不審者のケースにおいて実施はしておりますが、実施内容等を十分にお知らせ出来ない事を受け、ご家庭との連携を含めた広報の方法を検討中です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	お子様の疾患や服薬状況等について事前に保護者の方に確認を取るとともに、日々の連絡シートにてご体調等を随時確認しております。また、てんかん・痙攣に関しましてはスタッフへの研修を行い、発作時対応に関する研修を行っております。	お子様の体調変化だけでなく、お怪我等、お子様の些細な変化についてもスタッフ内での共有することで、速やかな連絡対応にあたるように努めます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	保護者の方の情報に基づきリストを作成し、おやつや療育活動に適宜対応いたしております。	医師の診断書や指示書に基づき対応ができるよう、保護者の方から診断書や指示書のコピー等を頂けるようお声がけをして参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	安全点検マニュアル及び、感染症や災害にまつわるBCP（事業継続計画）を定め、それに基づいた緊急時対応がなされるよう会議、研修を行っています。	安全点検会議（事故防止）や防犯・感染症対策会議においては定期実施されておりますが、実施内容等を十分にお知らせ出来ない事を受け、ご家庭との連携を含めた広報の方法を検討しております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	4	安全点検会議の定期実施だけでなく、日々のヒヤリハットをリアルタイムに活用できるようスタッフ間の連絡体系を作成しております。	引き続き、安全点検会議を重ねつつ、お子様が安心・安全にお過ごしいただけるような空間づくりに取り組むとともに、当所の取り組みについてご利用者様に広くお伝えする方法を検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットについてはSNSを活用し、事業所内のクローズドな形でスタッフ間に即時共有できる連絡体系を作成しており、翌日には報告・共有できるように考えております。	これからもご家族の皆様が安心してご利用いただけるよう、事業所内での共有を徹底し、事故再発防止のための創意工夫を行って参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	2	虐待防止に際し、事業所内に虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、会議、研修を開催し、発生防止施策とセルフチェックを実施しております。	引き続き、防止施策を実施し、お預かりしたお子様の傾向に合わせ、柔軟なケースカンファレンスを重ねて参ります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	虐待防止に際し、事業所内に虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、会議、研修を開催し、身体拘束が必要と思しきご利用者様には保護者の方へ身体拘束に関する同意書を作成し、説明とともに同意を得ています。	引き続き、防止施策を実施し、お預かりしたお子様の傾向に合わせ、柔軟なケースカンファレンスを重ねて参ります。	